

# アスベスト 全ての原告の救済を 6度目の最高裁要請行動

7月24日、建設アスベスト訴訟の6回目となる最高裁要請行動を行いました。現在、4つの訴訟(神奈川、東京、

京都、大阪)が最高裁第1小法廷に係属中で、午前11時から神奈川ルートの原告、弁護団、支援組合などの代表を中

心で書記官に対して、意見書も手渡ししながら公正な判決を訴えました。

正午前からは、最高裁前で「最高裁は原告全員の救済を」と書かれた黄色地のチラシを行動参加者は配布しながら、宣伝しました。



蒸し暑い中、最高裁前でチラシを渡して訴える原告、弁護団、支援者たち

神奈川弁護団の西村弁護士は、最高裁でもアスベストが検出され、半年間大法廷が使用できない異常な事態となっていることを知らせ、アスベスト被害は過去のものではないことを強調しました。また7月12日、ハンセン病訴訟では熊本地裁の判決を受け、国は控訴断念し、安倍首相が患者と家族に対して謝罪したことを引き、10度にわたり断罪されている国は建設アスベスト訴訟でも全面解決に向けて決断すべきだと訴えました。

## 品川 公契約への道筋を 4組合で区議会ヒアリング



懇談する4組合の代表(左側)と区議の皆さん

【品川・書記・小島毅記】参議院選挙の翌日の7月22日、恒例の区議会ヒアリングを、都連傘下建設4組合共闘(東京建設・南建・ユニオン城南支部・東京土建品川支部)で、4会派(自民子ども未来・区議会自民党・公明党・共産党)に対し、小林書記長を含む8人の参加で実施しました。今回は、濱野品川区長の選挙チラシにも掲げられた「公契約条例の制定」を中心に、8項目(1公契約条例、2建設業への若年者の就労支援、3公共工事現場での建退共説

明会、4耐震化促進事業のさらなる上乗せ、5住宅改善工事助成事業の制度改善、6品川区の防災強化の取り組み、7アスベスト対策助成の強化、8品川区住宅まつり)について要望を行いました。特に、公契約条例については、4月実施された要綱の「チェックシート」について議論があり、東京都連賃金調査結果・現場アンケート結果を示しながら、あくまでも「公契約条例制定」に向けた道筋を示してほしいとの訴えを重ねて行ないました。



抽選会にはたくさんの景品

【墨田・書記・三上龍起通信員】8月4日、東京土建墨田支部会館にて、「令和元年夏まつり」が開催されました。元々は厚生文化部、女性の会、すみだがそれぞれ夏季に行なっていた行事ですが、一本化し役員負担軽減と多オリティ向上を図

りました。家族連れで楽しめるように、飲食や遊びに盛りだくさんのイベントを目指し、長期スパンでの企画・制作に臨みました。下の中、支部会館には100人もの組合員・家族で大いに賑わい大成功となりました。

## 女性&厚文で夏まつり 15企画は無料で

将棋大会、カレー、フランクフルト、焼きそば、かき氷、ポップコーン、飲み物、写真教室、手芸、絵紙教室、木工制作、DVD上映、ストロ

予定時間を半分ほど過ぎたところで、ビンゴ大会が始まりました。景品は空調服やヘッドライト、ヘルメットなどの建設グッズです。あらかじめ参加者の名札を入れた箱から次々と読み上げられる名前が、場内が沸きました。連日、景品をゲットした方は、「早速使ってみよう」「ちょうど欲しかったんですよ」とご満悦。用意した食事もきれいに無くなったところで、盛会のうちに終了しました。



まずは名刺交換から

間際に一気に顔ぶれがそろい、54人の参加で、始まりました。組合員相互に仕事のつながりを作ってもらう目的で始めた取り組みで、今回で8回目になりましたが、初参加者も多数おり、名刺交換から話の花が咲きました。後半で行なったビンゴ大会のビンゴカードは、交流した参加者の名前を記入して、自作する方式にし、話のきっかけになってい

予定時間を半分ほど過ぎたところで、ビンゴ大会が始まりました。景品は空調服やヘッドライト、ヘルメットなどの建設グッズです。あらかじめ参加者の名札を入れた箱から次々と読み上げられる名前が、場内が沸きました。連日、景品をゲットした方は、「早速使ってみよう」「ちょうど欲しかったんですよ」とご満悦。用意した食事もきれいに無くなったところで、盛会のうちに終了しました。

## 品川 ナツコでつながり ビンゴで建設グッズ

【品川・書記・吉田ゆめ通信員】7月25日、品川区立中小企業センターにて、仲間とつながる交流会(NATSU・TSU・KO)を開催しました。開場当初、参加者の集まりが鈍く、



投票前によく吟味

【江戸川・書記・中村安彦記】江戸川支部では、7月25日、子ども木工教室の作品を選挙コンペを職域・技術対策部会の中で開催しました。江戸川区主催の地域まつりでの木工教室は、東京土建が多く協力しています(毎年11回)。毎回、多くの子どもが行列をつくる人気企画です。

## 江戸川 木工教室は年11回も 作品をコンペへで

これは、区民に広く東京土建をPRするチャンスであると同時に、区役所住宅課相談係の宣伝も行ない、区役所と東京土建の協働関係を築く有効な取り組みになっています。また、作品項目は毎年最初の部会で一つに決定し、その年度内は統一して作成する方式です。今まで、本立て・風呂いす・マガジンラックなどを作ってきましたが、3〜4年に1度は同じものとなってきたため、「これ前にも作ったことあるよ」との声も聞かれ



4組のカップルが成立しました

事業所からスタッフを含む複数参加や、65歳組合員の告白でカップル成立等がありました。参加者からは「全員の異性と話せた」「スタッフもよくサポートしてくれた」などの声もあがりました。今後も仲間の要望にこたえ開催を検討していきます。

## 杉並 「本気の出会い」に応え ボーイミーツガール

【杉並・書記・藤澤拓海記】杉並支部は、「建設現場では出会いが少ない」となげく現役世代・独身の仲間からの強い要望を受け、7月20日に6回目となる出会いイベント「ボーイミーツガール」を合計43人の参加で開催。今回は三鷹武蔵野支部の後継者対策部と共催でした。本気の出会いを求める男女を中心に参加者を募り、ぎりぎりまで参加者確保に取り組みました。当日は今回も「プロフィールカード」や「途中に個別呼び出しで中間聞き取り調査」を取り入れ、最後に「男性からの直接告白タイム」を設け、結果にこだわった運営スタイルで4組のカップルが成立しました。